



2学期後半がスタート！



新たな年が始まりました。皆様には、穏やかなお正月を過ごされたことと思います。

さて、先週 1 月 9 日（火）から 2 学期後半の授業が始まってから 10 日あまり。寒さに負けず、元気に校庭で遊ぶ回る子供たちの声がとても心地よく感じます。

各学級では、子どもたちと一緒に今年 1 年の目標、挑戦したいことなどを話し合い、「今年もみんなで頑張ろう！」という思いをもって、学校生活を再スタートいたしました。

令和 6 年も「地域とともにある学校」として、本校がますます前進できるよう、また 724 名の児童一人一人が、日々健康で、楽しくのびのびと学校生活を送ることができるよう、全教職員が一丸となって教育活動にあたってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

縦割り班対抗 長なわ大会

今週 1 月 15 日（月）と 17 日（水）のロング昼休みに、縦割り班対抗の長なわ大会を開催しました。体育の授業や休み時間、さらには冬休み期間に、チャレンジカードなどを活用してなわとびに挑戦中の子供たち。今回は、48 の縦割り班ごとに、8 の字跳び（低学年は大波小波で可）の記録を競い合いました。



どの班も、6 年生を中心に、お互いに教え合ったり励まし合いながら、笑顔で楽しく活動することができました。

学校評価へのご協力 ありがとうございました！

11 月から 12 月にかけて、保護者の皆様や地域の皆様にご協力いただいた令和 5 年度の学校評価の結果がまとまりました。本校の教育活動に対して様々な角度から貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

特に複数の方からご意見・ご提案をいただいた点について、掲載させていただきます。

	ご意見・ご提案	本校としての対応等
施設面	「トイレの改修や、エアコンの点検・修繕を。」	⇒エアコンやトイレに限らず、特に北校舎の老朽化、施設の故障等が増えています。市教委の支援の下、故障等の速やかな把握と修理・修繕等とともに、さらに衛生面（清潔さ）を強化し、子供たちが安全安心に学校生活を送れるよう努めてまいります。

生活面	「先生も子供たちも、もっと元気に進んであいさつを。」	⇒本校のよき伝統である「元気のよいあいさつ」をしっかり引き継ぎ、さらにパワーアップできるよう、まずは 教職員が手本を示す とともに、 児童主体の取組 なども検討したいと思います。
	「ジェンダー平等の取組の推進を。」	⇒通学帽のデザインの統一についてご提案がありましたが、施設面への配慮を含め できることから順次 取り組んでまいります。
学習面	「宿題の量や内容の改善を。」	⇒宿題（家庭学習）は、授業内容の復習、漢字習得などのための反復練習など、 基礎基本の定着を図る方法の一つ であり、何より 学習リズムの習慣化 が重要であると考え、取り組ませております。年度当初に配付した「家庭学習の手引き」等に沿って、系統的に取り組ませるよう努めてまいります。
	「もっとお互いの考えを交換し合える授業を。」	⇒感染症への対応等が一つの区切りを迎えたことから、今後は発達段階や学習内容などを踏まえつつ、 話し合い活動 や グループ活動 などの機会を増やし、 子供のアイディア、主体性をさらに生かした取組 を進めるよう、工夫改善を図っていきたいと考えています。
	「授業ボランティアに協力したい。」	⇒貴重なご提案、ありがとうございます。 本校では、「たぶりえっぺ」「ルピナス」、スクールガードや交通指導員の皆様をはじめ、農園活動や校外学習などの際にも多くの方々に様々な形でご支援いただいております。心より感謝申し上げます。 次年度は、コロナ禍後の教育活動の充実に向け、 読み聞かせ、家庭科などの技能教科での支援 をお願いする機会が多くなる見込みです。新年度に入りましたら適宜お知らせします。その際はぜひお力添えをお願いいたします。
連絡・相談	「予定は早めに連絡を。」	⇒次年度も年間予定表を配付いたしますが、予定にない行事など急な変更を含め、 可能な範囲でより迅速に連絡 できるよう配慮いたします。
	「さくら連絡網のさらなる活用を。」	⇒欠席や早退等をしたお子さんの様子を把握する方法の一つとして、さくら連絡網の活用についても検討したいと思います。現時点では、今後とも担任からご連絡を差し上げ、状況等を 直接お伺いさせていただくことを基本 に対応したいと考えております。
	「懇談の機会を増やしてほしい。」	⇒次年度も7月に個人懇談を実施予定ですが、冬季希望懇談期間は設けず、 「必要な時に、時機を逃さず、すぐに連絡・相談」 を基本に取り組みたいと考え、検討しているところです。 気になること、困りごと等があった場合には、躊躇することなく、 速やかに学校（担任）にご連絡ご相談いただくことが、問題等の迅速な対応と適切な解決につながります。 ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
教職員	「土曜授業は廃止等に。」 「補助教員の配置を。」	⇒貴重なご意見として、県・市教委に伝えたいと思います。
	「担任の指導力向上を。」	⇒担任の指導力につきましては、教職経験の長短や年齢等に関わらず、専門職として常に高めていくべきものと認識しております。引き続き、教職員間で授業力・指導力を高め合い、子供たちのよりよい学びにつながるよう努めてまいります。

「**教育は共育**」。子供たちとともに、私たち教職員も日々成長していきたいと考えています。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、引き続き、私たち教職員が気付かないこと、子供たちのよりよい学びにつながるアイディアなどをご遠慮なくお伝えください。